

鬼北に映画祭が やってきた!

11月6日(土)、近永公民館にて「愛媛国際映画祭2021」が行われました。

今回のテーマは「青春」。青春とは、主に思春期から青年期のことを指すが、「人生のある期間を指すのではなく、心の持ち方を指すもの」という有名なことばもある。(中略)

先行きが見えにくいいま、苦味を噛みしめつつ、「未来」を望んでいただきたい。「青春」は次の時代を呼び込む。映画祭でそんな映画に接することが、私たちの中になにかしらの希望を生み、育ててくれるかもしれない。そんな期待を込めたい。

文責：愛媛国際映画祭 2021 プログラムディレクター 石川誠二

鬼北町では、「魔女の宅急便」「南海の狼火」「鬼ガール」の三本が上映されました。

小林旭主演の南海の狼火は、ロケ地が宇和島であったこともあり、当時を知る方々による問い合わせも多く、当日は満席となり大盛況でした。南予ではすべての映画館が閉館してしまい、コロナウイルスの影響も重なって映画を見に行くことも難しくなっています。映画祭も、感染状況が落ち着きを見せているこの時期だからこそ開催できたように思います。町民の皆さんにとって、芸術鑑賞の素敵な機会となったのではないのでしょうか。



南海の狼火は大盛況!



青年団もお手伝い



映画、楽しかった☆

青年団活動 頑張っています!

近永公民館事業（主にわんぱく学級）において、欠かせない存在の鬼北町青年団。

西森団長のもと、日々新しいことにチャレンジしています。新型コロナウイルス感染拡大により、青年団活動の規模も縮小せざるを得ない状況が続いていました。団員のモチベーションもなかなか上がらない日々を過ごしていましたが、そんな中でもやることはあるのではないかと、様々な計画をしてきました。活動の一部ではございますが、ご覧ください。



活動の様子を
Instagramに
投稿しています♪
ぜひご覧ください!



青年団 Instagram

全国青年大会(オンライン)
意見発表の部で最優秀賞を
いただきました!!



鬼北町のPRを兼ねて、
LINEスタンプを作りました!



※収益は活動費の一部に充てさせていただきます。
ご理解のほどよろしく申し上げます。

レディースカルチャースクール開講

令和3年度レディースカルチャースクールを開講致します。

11月末に開講式を行い、いよいよ12月から講座が始まります。興味はあっても、まだ申し込みができていない方がおられましたら、若干名受け付けておりますので、気軽に近永公民館までお問い合わせください。



KIHOKU ONLINE MUSIC FESTIVAL 2021を開催します!

コロナ禍における文化芸術鑑賞の機会の創出、イベント等への出演の機会を失っているアーティストに活躍の場を提供することを目的として、当町初となるオンラインでの音楽祭を開催いたします。町内の文化芸術団体はもちろん、町外アーティストも参加してのビッグイベントとなっております。町内全公民館共同で行う本事業は、動画配信サイト YouTube を利用しての配信となります。ご自宅にインターネット環境がない方は、ご家族、ご友人など視聴可能な方と一緒にご覧ください。

デジタル化社会推進とともに、オンラインによる芸術鑑賞の機会も増加しています。「生音に勝るものはない」という意見もございますが、「家にいながらにして世界中の芸術に触れられることができる時代」となり、時代の最先端を自宅にて疑似体験することも可能となりました。是非、この機会に、ご自宅のインターネット整備もご検討いただき、配信をご覧ください。町内の子どもたちにとっても、夢や目標の一端となれるような事業となるよう、工夫しながら制作を進めて参ります。配信は12月下旬～1月上旬を目標とし、鬼北町【公式】YouTube 内にて配信いたします。お見逃しのないよう、是非、事前にチャンネル登録をしてお待ちください。



 YouTube



鬼北町【公式】YouTube

令和3年度近永地区敬老行事について

11月9日から3日間にわたって、近永地区の敬老対象者の皆様に仕出し弁当の配達をさせていただきました。昨年度より多くの皆様にお弁当をお届けすることができました。保育所園児たちによる演芸、小学生による作文も U-CAT で放送され、ご家庭にてお楽しみいただけただのではないのでしょうか。写真は、町内最高齢者の山内益子さんに、贈り物をさせていただいたときのものとなります。



おめでとうございます♪

図書新刊 入りました♪



近永公民館の貸出図書。
新刊のご案内です。



民残照の頂 続・山女日記 湊かなえ

ここは、再生の場所。NHK BS プレミアム「山女日記3」原作小説。

幅広い層に支持されたベストセラー、待望の第2弾。

「通過したつらい日々は、つらかったと認めればいい。たいへんだったと口に出せばいい。そこを乗り越えた自分を素直にねぎらえばいい。そこから、次の目的地を探せばいい。」……日々の思いを噛み締めながら、一步一步、山を登る女たち。頂から見える景色は、過去の自分を肯定し、未来へ導いてくれる。

琥珀の夏 辻村深月

かつてカルト集団として批判された団体の敷地から子どもの白骨が発見された。弁護士の法子は、遺体は自分の知る少女ではないかと胸騒ぎを覚える。三十年前の記憶の扉が開き、幼い日の友情と隠された罪があふれだす。



YouTube



インドラネット 桐野夏生

平凡な顔、運動神経は鈍く、勉強も得意ではない——何の取り柄もないことに強いコンプレックスを抱いて生きてきた八目晃は、非正規雇用で給与も安く、ゲームしか夢中になれない無為な生活を送っていた。唯一の誇りは、高校の同級生で、カリスマ性を持つ野々宮空知と、美貌の姉妹と親しく付き合ったこと。だがその空知が、カンボジアで消息を絶ったという。空知の行方を追い、東南アジアの混沌の中に飛び込んだ晃。そこで待っていたのは、美貌の三きょうだいの凄絶な過去だった……

句集 あめつち 宮崎きくを ※前回掲載の際、誤字がございましたので再掲させていただきます。失礼いたしました。

三千句の中から百句自選の、当町在住の宮崎きくをさんの初句集。

ふらこを風に返しぬ夕まぐれ

ぶらんこを降りた後の光景でしょう。まだ、揺れ残っているぶらんこが見えます。誰も乗っていないぶらんこが揺れている様子を「風に返し」と表現されたところに詩が感じられます。

—読者Aさん—

